

「和」をもって、共存共栄を目指す情報紙。
Takebashi Community Press

竹橋 コミュニティ プレス

January 2006
新年号

平成18年1月12日発行

発行人/大養 俊輔
発行/株式会社 帆風
編集長/小原 紹一郎
編集/株式会社 帆風 小原デザインセンター
スタッフ/石原 有理・横田 みえこ・井口 健太郎・椎橋 信雄
画像補正/山田豊
CTP印刷/竹橋プリンティングセンター

● 株式会社日相印刷
● 三協タックラベル株式会社
● 旭紙工業株式会社
● 双葉ネットワークス株式会社
● マト印刷株式会社
● グラパックジャパン株式会社
● 株式会社アール
● 株式会社セイコー紙業
● 星野製本株式会社
● 株式会社東京パック
● 敷島印刷株式会社
● 株式会社共栄校正
● 株式会社サンエムカラー
● 株式会社デザインピー
● 株式会社梅理ラベルサービス
● 株式会社ウイスプリンティング
● 白山印刷株式会社
● 株式会社日進堂印刷所
● 株式会社東和印刷紙器
● 北斗印刷株式会社
● ハート株式会社
● 株式会社プロセスレポ
● 株式会社光陽社
● 今野印刷株式会社
● 小川印刷株式会社
● 富士印刷株式会社
● 大阪シーリング印刷株式会社

● 石本紙工株式会社
● 高山印刷株式会社
● 株式会社大和
● 二葉印刷株式会社
● 株式会社やまとカーボン社
● 株式会社図書印刷同歩舎
● 福博印刷株式会社
● 株式会社ウイルコーポレーション
● 株式会社三幸堂
● 野崎工業株式会社/東海印刷株式会社
● 株式会社ユーメディア
● 株式会社ラバーソール/柔術家藤政馬設計有限公司
● サン美術印刷株式会社
● 中部印刷株式会社
● 株式会社大和
● 宮下印刷株式会社

● 株式会社サクラ印刷/株式会社ジェイ・エス/株式会社ジャパンプランニングセンター/小鷹印刷株式会社
● 株式会社渋谷文庫堂
● 株式会社 林 敬文堂
● 株式会社 古田デザイン事務所
● 新日本カレンダー株式会社
● 株式会社日華印刷有限公司
● 株式会社昭和堂

● 太陽出版株式会社
代表取締役 中田孝
印刷業(企画・デザイン、同人誌、パンフレット、社案内、DM、カレンダー、ポスター、カタログ、伝票、各種印刷全般、製本加工)
〒441-8077 愛知県豊橋市神野新田町口ノ割200番地
Tel: 0532-32-7617

謹賀新年。



竹橋コミュニティプレス代表取締役
松井 勝美

印刷業界の中心として 情報発信する集合体へ

明けましておめでとうとい
たいです。
皆様におかれましては昨
年「コミュニティ」のスタート
として第一歩を踏み出され本
年は更にステップアップシヤン
へと繋げる大奮闘の年になると思われま
す。

昨年はメンバー間のコミュニケーション不足
もあり何かと連携不足があったのではと反省
している次第です。多数の同業関連業者の集
りです。そこに微妙な利害関係もあり本
当に情報交換できる場にはなっていないと
感じています。また、日本には印刷業
社が数社あると言われており、その中の何
れか一部が我々でもっとお互いが人的ネット
ワークを利用し情報交換できないかと思
っています。コミュニティの初代委員長としての任
務は、この企業間の壁を取り除いた環境を構
築し、更に5年後、10年後のビジョンを明確に
して皆様のお役に立たなければなりません。

私の新年の夢は「コミュニティ」が何年か
後は日本の印刷業界の中心として情報発信
の場となる集合体になることを願っています。
印刷業界はここ数年の間に急速にデジタル
化が進み、デジタルといえはアナログ時代の人
と人の対話が不足しているように思われま
す。我々の仕事は、いかにデジタル化が進もう
とも基本は人と人の繋がりにあり、そのこ
ろにこそ「コミュニティ」の人的ネットワーク
は大切だと思っています。

又、業界の課題として印刷の前段階である
デザイン、データの問題及び最近急速に普及し
てきたデジタルカメラの問題があります。各々
自社制作であればポイント管理する事で問
題はないのですがユーザーから出てくるデ
ータはまだ不安定なものが多く印刷会社負担
を強いられるのが現状ではないでしょうか。
十分な検証が行われないまま、新しい編集
ソフトや日々発表されるそれに対しデザイン業
界で「これといった基準や教育が確立されな
いまま作業が進んでしまっているのです。デ
ジタルカメラ撮影に関しても同じようなこと
が言えます。我々は印刷業界のリーダーとし
て「デザイン業界」デジタルカメラ撮影に関し
てキチンと指針を与え印刷物制作工程のレ
ダーシップをとらなければと痛感しています。
色々と課題の多い新年を迎えましたが、ど
んな難問にも正面からぶつかって解決し、皆様
と共に更なる躍進を願っていますので本年も
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年最大のテーマは 良好な連鎖反応の構築



竹橋コミュニティプレス代表取締役
湯本 好英

今年最大のテーマは「今年最大のテーマは
良好な連鎖反応の構築」です。昨年5月にスタートした竹橋コミュニティも、半年が経過しましたが、今までのない事業共同体として発展したコミュニティですが、昨年は各社紹介を中心に、相互理解に重点を置いて進めて参りましたが、みなさまの積極的な努力で、必要な情報交換が進んだと感じています。今年は昨年の成果を基礎として「ビジネスの成果を上げる」ことが肝要です。

一社ではできない仕事も、多様な価値を持つコミュニティを取り組めばきっと成果につながると思えます。「これからは自社の利益ばかりを追求するのではなく、コミュニティ全体としての利益を大切にすることが必要です。」「自社のリソースをメンバー他社に有利に提供してください。そうすれば仲間はずれ良いいレスポンスをくれるに違いありません。」

このような、会員同士の良好な連鎖反応を構築するのが今年最大のテーマです。

各社の協同とご加勢をお願いいたします。

コミュニティに集う 全員が心を一つにして



竹橋コミュニティプレス代表取締役
瀧本 正明

新年あけましておめで
うございます。
年末には、大勢の企業の
方々が京都へ会社見学、忘
年会懇親会に来ていただき
有り難うございました。昨年6月に「ミニ
ミニ」の委員会役員に選ばれ、また全員の
顔も覚えられない状態が少しは解消し
たと思っております。お許しください。
景気は、大企業等は回復傾向の方向であ
り、中小企業ではまだまだ厳しい状況です。
大企業だけが栄える国に繁栄はありません。
中小企業も、車の両輪のごとく共に栄える国
でなければなりません。

その為にも、竹橋コミュニティが果たす役
割は更に大きなものに成らなければいけ
ないと思えます。

大養社長がいつも言われていた「ミニミニ
50社合わせれば2040億円の売上があ
る。それなら皆で心合わせれば本業の大企業
になるはず。その為、ミニミニに
集う全員50社が手を携え、心一つにして、激
動の時代を生き抜かなければなりません。」
今年も、委員会役員任期が終わるまで皆様
のお役に立てる様に頑張りますので、ご協力
をお願いします。

竹橋コミュニティスクエアの 新しいメンバーご紹介

(ナンバー、順序はお申込み順・敬称略 / 12月19日現在)

ご意見・ご不満・ご提案から コミュニティの進化が



株式会社 帆風 代表取締役
犬養 俊輔

新年あけましておめで
うございます。
「コミュニティスクエア」が
スタートしたのは、昨年5
月。初めは暗黒探偵の中
満足したばかりには程遠
い有り様でしたが、皆様の暖
かいご協力を得て、僅かす
たでも良い方向に歩むこ
とができました。これもひと
えに皆様の協力によるもの
と深く感謝いたしております。
「コミュニティ」に入られた
方々には、三つの望みがあ
ると考えます。ひとつは、
入った以上は商売になるこ
と。もうひとつは、ここで
あらゆる情報が得られるこ
と。情報交換の場として機
能する事。そして、各企業
間のコミュニケーション

「コミュニティ」を密にする。今年はその
実現のために、微力ながら一杯の努力を
させていた決意であります。
昨年は走りながら進んでい、あつた
とわづかしましたが、今年より計画的に情
報の取得に努めて、コミュニティケーシ
ョンの方法についても具体的な現実的なもの
を考えたい。特に、商売について
はスクエア専門の言葉をあつた、理想的な
形をつかってやってみたい。又それは最終
的には必要がないと思っております。
しかし、それ以前にやらなければなら
ない事が多く残されており、今年はず
を優先させて、本意に入らなかつた。こ
をわづかす。コミュニティをつくり上げた、それ
をどうやってつらつくれるのか、この会社
にプラスとなる様な仕組みはないか、この
点を追求して参りたいと思っております。その
為には、コミュニティの方々からも「意見
やご不満・ご提案など何でもよいので、ど
んと言った方がいい。複数の人達が多く
の意見を出し合う事によってのみ、ミニ
ミニスクエアの進化はあるのですから。」
最後に、スクエア全体が共に繁栄する年
であります。心からお祈り申し上げます。

社・工場とも竹橋プリンティングセンター
に移転し、業績もほぼ順調に推移致して
おります。これもひとえに皆様方のおかげと
感謝いたしております。
移転後、弊社が迎える初めての新年にあ
たり、社員一同、今年第一創業の年と踏
み、気持ちを引き締め邁進する所存で
ございます。又弊社の得意分野である特
殊印刷技術を活かして、コミュニティ
の方々に様々な形でコミュニケーション
と存じますので、宜しくお願いいた
します。

考え、行動し 結果を出す年に

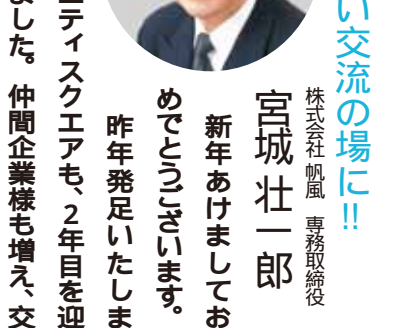


株式会社 ジャパンアート 代表取締役
加藤 和憲

明けましておめで
うございます。これまで組
版製本を中心に事業展開して
きた当社にとり、昨年は
大きな転機期でした。竹橋
へのオファーを受け、昨年
入を契機に、川上から川下
まで一貫してできるよ
うになり、営業も受けの
姿勢から企画提案型に
変わりました。業界を取り
巻く状況は厳しさを増し
業績的予測はできません
が、各々のポジションで
考え、行動し、結果を出
す年にしたいと思います。
努力を重ねていけば今迄
と違う力が出せると思
います。日進月歩で変
化する業界で生き残るに
は、自らを革新してい
かねばなりません。

培ってきた技術力をベースに、企画提案力を
備えたオンリーワン企業となるには、昨
日までのやり方がベストと考える必要
があります。今年、印刷会社としての
ジャパンアートが、考え、行動し、結果
を出す。年として全社員一丸となり
邁進したいと思っております。
最後に、この一年が皆様にとり
まして、多く笑み多い年にな
りますようお祈り申し上げます。

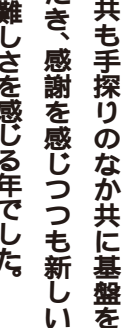
素晴らしい交流の場に!!



株式会社 帆風 代表取締役
宮城 壮一郎

新年あけましてお
めでうございます。
昨年発足したしま
した「コミュニティスクエア」も、2年目を迎
えるに至りました。仲間企業も増え交
流会も実のある形になって参りましたこと
心より感謝申し上げます。
12月に開催されました京都交流会も大
勢の方のご参加で非常に活気のある会とな
りました。そのまの勢いが、今年に繋
がるものと楽しみにいたしております。
今年、更にお互いの会社が緊密に協
力しあつて、それぞれのビジネスがど
んと伸びていくよう、事務局一同努力を
続けて参ります。
今年もどうぞよろしくお願いいた
します。

更なる交流と強いタッグで



竹橋プリンティングセンター代表
松原 輝久

あけましておめで
うございます。
皆様のご賛同を
いただき、共に走り始めてから初の新年を迎
え、安堵しております。
旧年は、私も手探りのなか共に奮闘を
築いていただき、感謝を感じつつも新し
いことを始める難しさを感じて参りました。
本年は、人居企業様同士の更なる交流、帆
風との強いタッグで、日本に誇れるスク
エアにするべく、更なるご指導を賜りたい
と思っております。宜しくお願いいた
します。

ビジネスの確立に向けて



竹橋コミュニティプレス代表取締役
鴨下 昇

「コミュニティスク
エア」が発足して半年が過
ぎました。今年には必ず実
りある年にするため、ス
クエア全体の交流を
更に活発化し、理
解を深めお互い
協力し合うこと
が、よりビジネス
チャンスと掛け
ることになると
確信しております。
是非、皆様の
ご協力のもと、大
きな山を動かす
べく、年頭に
あたり期待し
ております。